

会 議 録

1	会議名称	令和3年度 第2回 宝達志水町地域公共交通協議会
2	会議日時	令和4年1月7日（金）午前10時30分～午前12時
3	出席委員	<p>宝達志水町区長会 副会長 中西輝一郎</p> <p>宝達志水町老人クラブ連合会 会長 林一郎</p> <p>宝達志水町健康づくり推進員 会長 松田文江</p> <p>宝達志水町社会福祉協議会 事務局長 下次勇</p> <p>宝達志水町商工会 会長 市村昭代史</p> <p>宝達志水町立宝達志水病院 事務局長 松田英世</p> <p>西日本旅客鉄道株式会社七尾鉄道部 部長 江下喜久夫</p> <p>(株)敷浪タクシー 代表取締役 源野正和</p> <p>北陸信越運輸局交通政策部交通企画課 課長 玉巻史成</p> <p>北陸信越運輸局石川運輸支局 首席運輸企画専門官 木村幸典</p> <p>石川県企画振興部新幹線・交通対策監室 主任企画員 島内理名</p> <p>公立小松大学 特任教授 高山純一</p> <p>羽咋警察署交通課 課長 館伸一</p> <p>石川県羽咋土木事務所維持管理課 課長 瀬戸秀樹</p> <p>宝達志水町副町長 高下栄次</p> <p>宝達志水町総務課 課長 村井仁志</p> <p>宝達志水町健康福祉課 課長 岡田正人</p> <p>宝達志水町地域整備課 課長 藤本清司</p> <p>宝達志水町学校教育課 課長 笠松幹生</p> <p>宝達志水町生涯学習課 課長 坂井賢 【計：20名】</p>
4	事務局	(企画情報課) 大下佳子課長、松本宗久主幹
5	議 事	<p>開 会</p> <p>1 会長あいさつ</p> <p>本日は令和3年度第2回協議会にお集まりいただき、ありがとうございます。今回は計画書案を提示し、今後のパブリックコメントの実施に向けて、ご承認をいただきたい。また、町の実施するデマンド交通など地域公共交通確保維持改善事業の事業評価についての評定を行っていただく。事務局説明の後、忌憚のないご意見をお願いします。</p> <p>2 議事案件</p> <p>(1) 議案第4号 地域公共交通計画（案）について</p> <p>(2) 議案第5号 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価について</p> <p>質疑応答</p> <p>(1) 議案第4号 地域公共交通計画（案）について</p> <p>市村委員：自動車運転免許の返納については、今後、高齢者の事故がますます</p>

増加することも考えられるため、デマンドタクシーなどの公共交通で対応する必要がある。自主返納の来庁の際に、町の行うサービスを丁寧に説明すべきであろう。3,000円や5,000円の商品券などに目が行くが、町として実施している福祉サービスなどについても説明してはどうか。その際、事務的に説明するのではなく、困っていることなどを確認しつつ、個々に合わせた対応にしてはどうか。

健康福祉課：健康福祉課ではお手元に配布した「医療と介護のガイドブック」を作成して、当課の窓口いらした方に詳しく説明しているが、免許返納の窓口でも案内できるように、庁内で一体的に情報提供をしていきたい。

高下会長：老人クラブの林委員は、まだ運転免許は維持されているのか。

林委員：私は運転免許を維持しており、周囲でも返納した方は少ない。返納者について、買物や通院の状況などを確認した追跡調査は実施しているのか。

事務局：返納後の状況については、まだ把握していない。なお、昨年、移動販売車が導入され、各集落での買物支援が始まっており、返納後の暮らしを支える一部となっている。

林委員：移動販売車はよい取組であり、利用されている方もいらっしゃる。

高下会長：移動販売車を使っているかたも、まずまずいらっしゃる。

その他、社会福祉協議会から意見はないか。

下次委員：困っている方の相談に乗っていくことで広く意見が出てくると思うので、また新しい取組も検討していきたい。

林委員：南北シャトルについて、もう一度、説明してほしい。

※事務局から導入の検討経緯、効果、運行概要について説明。

高下会長：今後、小学校の再編があるが、ドライバー確保に問題はないか。

源野委員：ドライバーの調整はまだこれからで、車両についても検討中であるが、十分に話し合っ進めていきたい。なお、南北シャトルの案については、町民や利用者アンケート、運行実態に基づいて検討しており、私も同席させていただいた。デマンドタクシーよりも各病院にも行きやすく、値下げになる方もおり、無料バスにはない高い利用価値を出していきたい。コロナ禍で公共交通のニーズが減ってきており、その歯止めとなればよい。

木村委員：羽咋市への乗り入れも予定しているが、石野町のバス停はどのように設定しているのか。

事務局：商業施設が石野町に集積しており、現在、デマンドタクシーの乗降も石野町で行っており、同じように設定している。

木村委員：シャトルはどのように利用するのか。

事務局：定時運行である。

木村委員：他都市でシャトルバスを導入した事例があるが、診療で予定より時間がかかり、便に間に合わない方がいる点に配慮してほしい。

高山副会長：計画は概ね良いが、2つ意見がある。まず、乗車キャンペーンは年1回となっているが、1回だけでは少ないので、いろいろな機会にやるようにした方がよい。乗らず嫌いの方が多いので、必要な取組である。次に、今後のJR七尾線のダイヤ改正で減便されるが、便の減少によるサービス水準の低下が負のスパイラルになり、ますます利用者が減少していく可能性がある。次の北陸新幹線の敦賀開業に伴う見直しのタイミングでさらに減便される可能性もあり、利用者を増やしていく必要がある。そのため、P51にある「若者通勤サポート事業」はよい取組であるが、補助金額や対象年齢の拡大を検討してもよいだろう。通勤については、基本的に企業から通勤手当がでるため、別の名称に変えてもよいだろう。富山市では通学定期補助を実施しているが、若者向けの通学サポート、通勤は別の名称で取り組んだらよいだろう。なお、現在、サポート事業の利用者は何人程度か。

事務局：総数は現在は把握していないが、100人はいかない程度だろう。

高山副会長：その程度の人数であれば、もっと増やしていけばよいだろう。七尾線は金沢～高松間はそこまで減少していないが、その以北が大きく減少している。沿線自治体が協力してこのような施策を進めていくことが、鉄道維持に効果があると考えられる。そこまで金額が多くなってよいが、取組実施を検討してほしい。

江下委員：JR七尾線の利用者数は高松以南までが多く、金沢市通勤圏での利用者が増えている。今回、通勤時間帯後の減便を実施するが、七尾線に目を向けてもらえる機会となるので、自治体の利用者支援策にも期待ができるので、ぜひ、協力をお願いしたい。

高山副会長：JRに意見であるが、通勤時間帯以降の減便はよいが、終電の繰り下げはよくない。東京からのかがやき最終便との接続があることが地域の利便性確保に重要であり、11時35分の便を金沢開業時に作ってもらった。金沢管区だけで検討できるものではないだろうが、コロナ禍での減便であれば、コロナ禍後はぜひ戻してほしい。

江下委員：各市町の首長には減便に向けた理解が得られるよう、説明に回ったところであるが、最終便については、コロナ禍前からの利用実績も踏まえて見直すことにした。利用が回復するようであれば、増便も検討したい。

高下会長：議案の地域公共交通計画（案）に賛成の方は挙手をお願いしたい。

※一同挙手

高下会長：賛成多数ということで、次の議題を進めさせていただく。

(2) 議案第5号 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価について

※事務局説明

事務局：書面で2点意見を頂いている。まず、「コミュニティバス、デマン

	<p>ドタクシーの利用者、運転手の意見を確認し、無駄やムラ、良い点などを生かした改善がされているのか」というご意見について、地域公共交通計画において、町民や利用者、ドライバーアンケートやヒアリングを実施して進めており、今後は計画を踏まえて、地域公共交通の改善をしていきたい。</p> <p>次に「自動車運転免許の返納時に福祉サービスの案内を丁寧に実施するべきだ」というご意見については、先ほど健康福祉課から説明があったが、ガイドを活用して、窓口となる危機管理室で丁寧に対応していきたい。</p> <p>高下会長：既に書面で賛成いただいておりますが、追加の意見はあるか。</p> <p>※特になし</p> <p>高下会長：以上で質疑を終わりたい。高山副会長より、総評をお願いしたい。</p> <p>高山副会長：協議会での評価結果は、2月の第3者評価会で審議することになるが、そこでの評価ポイントは利用者数である。地域公共交通は本来、高齢者の健康維持にもとても影響し、この計画では高齢者の外出数を指標に入れた点がいいことである。健康寿命と外出状況の関係を調べた分かりやすい結果はないが、身近な方をみると外出される方が元気なのは明らかであろう。公共交通は無駄に見えるかもしれないが、その他に目を向けていけば大きな効果がある。アンケート結果に「コミュニティバスは削減すべき」という自由回答が多くあるが、このような方がゼロとなるように、説明していくことが重要であろう。</p> <p>高下会長：自分で使われない方が多いのでこのような傾向があるのかと思うが、自分が利用する立場になった際、必要なものである。さて、その他、交通関連で意見はあるか。</p> <p>館 委 員：高齢者の交通事故が問題になっており、事故リスクを減らすためにも、自主返納が着実に進むよう町と連携したい。返納後にも安心して暮らせるような、まちづくりが必要である。</p> <p>高下会長：本日いただいた意見をパブコメ案に反映し、最終案として2月後半予定の協議会で諮る予定である。</p> <p style="text-align: right;">閉会</p>
6 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度 第2回 宝達志水町地域公共交通協議会 次第 ・資料1 宝達志水町地域公共交通計画（案） ・資料2 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）